



だい 第1章 しょう

イギリスの革命と議会政治の確立 かくめい ぎかいせいじ かくりつ

だい 1 しょう
第1章の
ポイント

こくおう ぎ かい かんけい
イギリスの国王と議会の関係に
かんが
ついて考えてみよう

16世紀に世界帝国として絶頂期をむかえたスペイン。
そのあとをつぐようにオランダは17世紀に世界貿易の
頂点に立つ。そして、この章ではイギリスだね。



ネコ



せんせい
ムンディ先生

イギリスでも宗教改革の影響は大きく、
ヘンリ8世はイギリス国教会を作って
国王の力を強くしていくよ。

カトリック教会のローマ教皇支配から抜けだし
イギリス国王を頂点とした国作りを始めるんだね。



ネコ



せんせい
ムンディ先生

中世のイギリスでは、国王の権利を制限して勝手な政治を
させない「マグナ=カルタ」が制定されたり、いろいろな
身分の代表が集まる「模範議会」が開かれたりしたね。

イギリスは国王に対して議会の力が比較的強い国だ。
議会の賛成がなければ国王も政治を進められないだね。



ネコ



せんせい
ムンディ先生

イギリスの議会は貴族院（上院）と庶民院（下院）で構成さ
れる。庶民院では中世の終わりごろから「ジェントリ」と
呼ばれた人びとが力をつけていったんだ。

羊毛業や毛織物業で経済力をつけてきた商人や
元騎士などの地主階級の人びとだね。



ネコ



せんせい
ムンディ先生

彼らが中心となった「ピューリタン革命」では
国王がいらない共和政が誕生する。
「イギリス革命」とも呼ばれる激動の時代を
しっかりと見ていこう。



ヘンリ8世^{せい}
「テューダー朝^{ちやう} 2代目^{だいいめ}の国王^{こておう}」

*キヤサリン妃^ひと
離婚^{りこん}ですと？



すでに
次の王妃^{つぎのきさひ}は

アンリブーリンという
美しい貴族^{きぞく}のむすめに
決^めめている



なかなか
あとつぎとなる
男児^{おとこご}を産^うまない
王妃^{きさひ}など
意味^{いみ}がない！

あとつぎがあつて
初めて^{はじめて}わが
テューダー朝^{てうだうちやう}は安定^{あんてい}し
イングランドも
安定^{あんてい}するのだ

*早死^{はやじ}にした兄^{あに}の妻^{つま}キヤサリンとヘンリ8世^{せい}の結婚^{けっこん}はカトリック教会^{きょうかい}では禁^{きん}止^しされていましたが、ローマ
教皇^{きやうかう}の特別^{とくべつ}なほからいで許^{ゆる}されました。それを取り^とりけしてほしいというのがヘンリ8世^{せい}の要望^{きやうぼう}でした。



貴族といつても
彼女の家は
4代前までは
平民だった
家系——

…それに
カトリック
教会では
離婚は許されて
おりません

ローマ教皇も
許さない
でしょうな



それなら
わたしが…

イングランドの
キリスト教会の
首長になるとい
うのは
どうだろうか？

すなわち
人びとが
ローマ教皇庁に
納めていた税も
わたしに納める
ことになる

ははは

教会に
口出しされる
ことなく
わたしのもとで国が
ひとつになるのだ！

なんと…
カトリック教会から
独立されるの
ですか!?

ははははは…



国王至上法は賛成多数で可決とする！

110千 110千 110千

異議なし！



議会

……え……

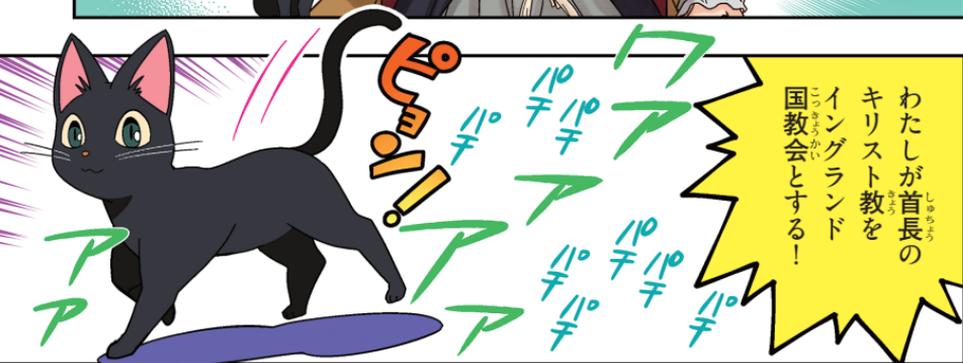
……では……



わが国では国王のわたしこそが一番の存在……

宗教においても同様である！

よって……



わたしが首長のキリスト教をイングランド国教会とする！

イングランドでは
国王と議会在
宗教改革を
おこなったんだ

その結果
イングランドには
イングランド国教会が
誕生し――

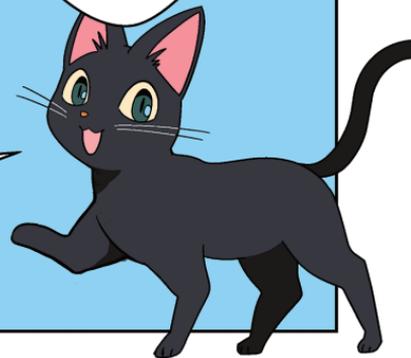
イングランド国教会

カトリック

カルヴァン派
*ピューリタン

そして国教会や
カルヴァン派の
人びとは――

この3派を
信仰する
人びとが
存在することに
なったんだ



カトリックに対抗する
存在として
『プロテスタント』と
呼ばれます

国教会に
カトリックの
修道院は
不要だ…

…となれば
修道院の
所有地や
財産は没収だ

それらは
我われに
はらい上げられる
ことになる…

…それなら
反対する
理由はない！

彼らは
ジェントリと
呼ばれる
中小の地主階級で

のちに
貴族に代わって
地方統治の
中心となって
いきます

パチパチ

パチパチ

ふふふ…

ははは

パチパチ

パチパチ

パチパチ
パチパチ

*イングランド国教会の宗教改革を不十分と感じ、教義の
さらなる純化を望んだことから清教徒とも呼ばれます。

エリザベス1世

メアリ1世

エドワード6世



生涯で
6人の妻を持った
ヘンリ8世には

のちに
王位につく
3人の子どもが
できました

ヘンリ8世の
死後――

唯一の男児
エドワード6世が
王位を
つぎます

病弱で
若くして
世を去り…

イングランド初の
女王として
あとを
ついだのが――

カトリック国
スペイン王女との
間に生まれ――

スペイン王太子の
フェリペとの
結婚を機に――

自らも熱心な
カトリック教徒の
メアリ1世でした

わたしは
イングランドを
カトリックの国に
もどします

反対する者は
容赦しません！

*のちのスペイン国王のフェリペ2世です。



国教会や
カルヴァン派の
聖職者
だけでなく
信徒の市民まで
処刑とは…

全く
むすびる！

ザグ…

ザグ



そんな
メアリ1世の死後
新たな女王に
なったのは

異母妹の
エリザベス1世
—
ヘンリ8世の
2番目の妻

アン・ブーリンの
むすめです



血まみれ
メアリとは
よくいった
ものだ…

メアリ1世による
激しい
プロテスタント
信徒の弾圧は
多くの国民から
反感を買いました

陛下

さつそく
ご結婚を
なさって

お世つぎを早く
お作りあそばしたほうが
よろしいかと…

亡き姉上の
夫だった
フェリペ2世さま…

フランスや
神聖ローマ帝国の
貴族からも
結婚の申し出が
きております

いいえ
今は
結婚よりも…

姉の招いた
宗教的な混乱を
収めることが
先決です！

確かに…
今の
イングランドでは

国教会や
カルヴァン派の
プロテスタント勢…

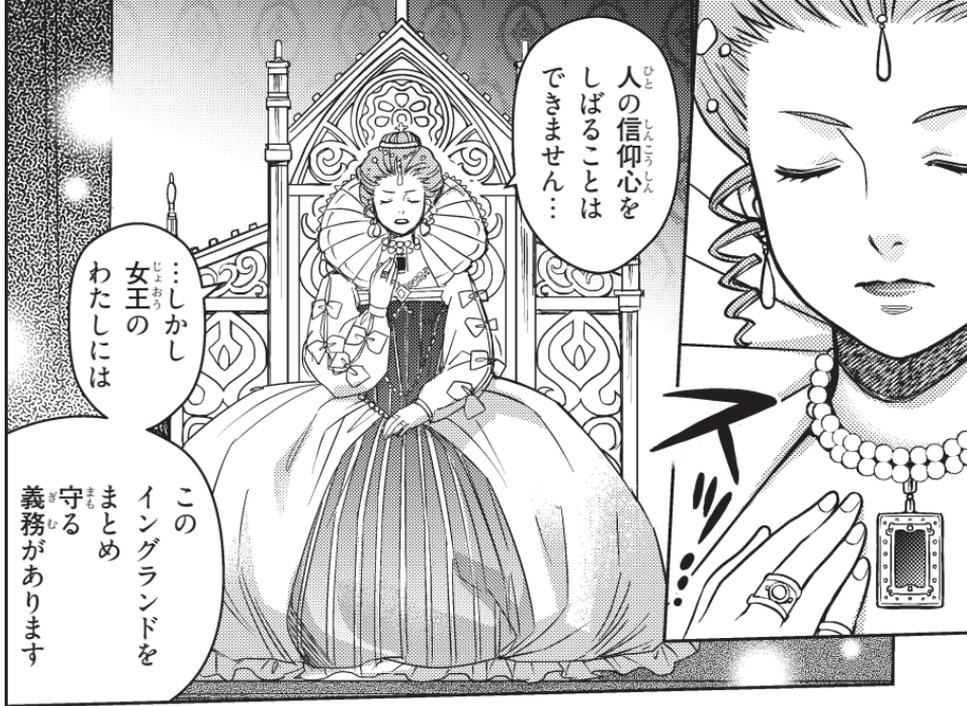
プレスビテリアン
(カルヴァン派)

カトリック



イングランド国教会・
ピューリタン(カルヴァン派)

それに
カトリック信徒が
たがいに
いがみあつて
いますが…



ひと
しんこうしん
人の信仰心を
しぼることは
できません…

…しかし
女王の
わたしには

この
イングランドを
まとめ
守る
義務があります



いま
じょうきょう
今のままの状況で
カトリック国との
結婚を
受けいれれば

しんこうしん
宗教的にも
他国の
干渉を受け…

イングランドは
のみこまれて
しまう…!!

エリザベスの
そんな
思いから

ぎかい
議会は
イングランド国教会の
礼拝と祈禱を
せいの
整備した
くとういっほう
統一法を制定—

くに
あんてい
国の安定を
進めます

*神や仏に願いを告げて祈ることです。

ローマ教皇領
ヴァチカン
聖ピエトロ
大聖堂(再建中)

…これで
イングランドは
スペインを始め

すべての
カトリック国
カトリック信者を
敵に回したと
いうことだな

そ…それで
いかが
いたしましょうか
教皇さま？

カン
カン
カン

破門だ！

イングランド国教会も
統一法も認めん！

は…はいっ！！



ロンドン
ハンプトン・コート宮殿

…わが国は
ヴァチカンとの
対立は
覚悟の上です

次の
報告を

陛下は
なんと
強い意志を
お持ちだ…

…次に
メアリステュアートの
処遇ですが…

は…
はい!

女王のわたしを
たよって
スコットランドから
にげて
きたのです

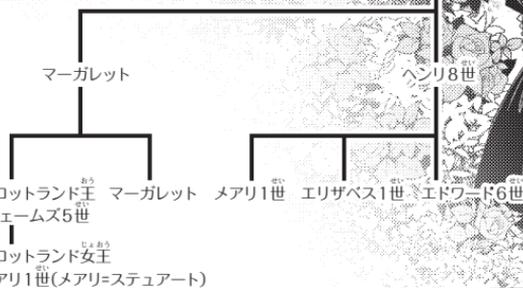
静かな暮らしを
送らせて
あげなさい

メアリ
ステュアート

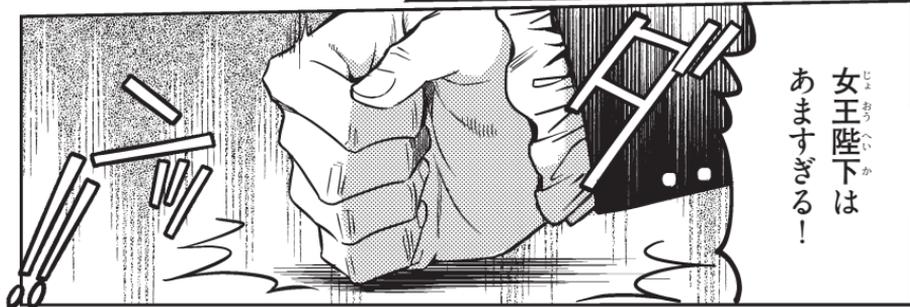
隣国
スコットランドの
前女王

側近にむすこの
ジェームズ6世へ
王位を無理矢理
ゆずらされた彼女は

エリザベス1世の
親戚に
あたりました



スコットランド王
ジェームズ5世
↓
スコットランド女王
メアリ1世(メアリ=ステュアート)



女王陛下は
あますぎる！



ロンドン 枢密院
国王や女王直属の
政務をつかさどる部署

メアリルステュアートは
自分こそが正統の
イングランド
王位継承者だ

あちこちで
いいまわって
おりますぞ！

何より
彼女が
カトリック信者
だという点が
問題です

わが国の
カトリック信者

—いや

強大な
カトリック国の
スペインが…

彼女を女王に
かつぎだす
動きさえある

なにっ

スペインが？

こんな
後継者問題が
起ころぬよう

女王陛下には
早く結婚して
世つぎを
残されるよう
進言したのだが—

ううむ…

…それに…
*オランダ
独立戦争の
影響で

アントウェルペンの
港が
スペイン軍に
占領され…

わが国の
毛織物の輸出が
とどこおっている

こちらも
なんとか
手を打たなければ
ならん—

…わが国の貿易を
スペインが
じゃましている
ようですね

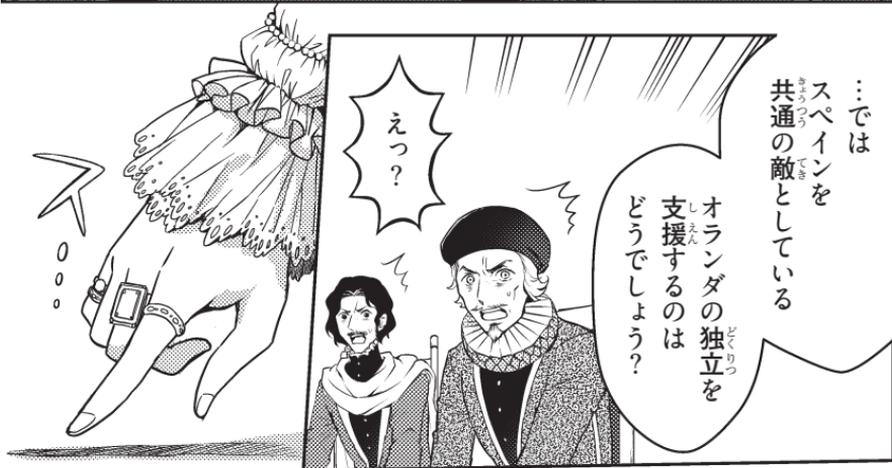
*スペインのカトリック信仰の強制やフェリペ2世の専政に
オランダが抵抗し、始まった戦争です。



しかしわが
イングランドとは
国力にも大きな差が
あります…

…正面から
戦争を仕かけても
勝ち目は無い
でしょうな

…そうですか



…では
スペインを
共通の敵としている

オランダの独立を
支援するのは
どうでしょう？

えっ？

オランダ

それに
わたしの海賊が
います…

「彼」に
ひとあばれして
もらいましょう